

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(20年9月分)

1. 調査実施期間 平成20年 8月20日 ~9月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

9月分の回答企業数は41社、回収率は85.4%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		20/9月	10月	11月
仕入動向	国産材	△ 17.7	△ 8.1	△ 4.8
	外材	△ 12.2	△ 6.8	△ 1.4
販売動向	国産材	△ 15.6	△ 9.4	△ 12.5
	外材	△ 10.8	△ 5.4	△ 6.8
在庫動向	国産材	△ 18.8	△ 12.9	△ 6.5
	外材	△ 22.2	△ 13.9	△ 6.9

仕入は、国産材、外材ともやや大きなマイナス幅を、秋需期に向けて着実に締め堅調な推移。

販売は、国産材、外材ともやや大きなマイナス幅で若干上下あるがほぼ横ばいと弱気配。

在庫は、国産材、外材とも小さなマイナス幅へ移行しほぼ適正なものとなってきている。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	20/9月	10月	11月
スギ正角(グリーン)	2.3	0.0	2.3
スギ正角(KD)	4.2	4.2	4.2
ヒノキ正角	10.0	4.0	2.0
ヒノキ土台角	15.9	4.5	2.3
米ツガ正角(現地挽)	2.2	4.3	2.2
米ツガ防腐土台角	4.5	6.8	4.5
米ツガ割物(現地挽)	9.1	2.3	2.3
米マツ平角	25.0	12.5	5.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	47.5	25.0	10.0
ホワイトウッド集成管柱	11.4	4.5	4.5
レッドウッド集成平角	27.5	15.0	5.0
型枠合板(国産)	41.7	25.0	8.3
型枠合板(輸入)	39.5	23.7	5.3
針葉樹合板	45.0	22.5	12.5

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角、土台とも、プラスで好調だが、ヒノキの勢い下げ気配。米ツガ正角(現地挽)、また米ツガ割物、防腐土台ともプラス幅で極めて安定し好調。米マツ平角大きなプラスを縮めるが強気配に変わらない。北洋アカマツタルキは、一段大きなプラスで絶好調。品薄模様からも極めて強い。WW管柱、RW平角ともプラス幅で安定し、漸く本格化の様相となってきたが、一気の勢い出ていない。

合板(針葉樹含む)は一層の大きなプラス幅を若干縮めるが、絶好調揺るぎなく強含み。全品目プラスと漸く価格先行きに明るさ増している。

1. 荷動き		コメント
仕入 動向	米マツ一般材丸太では、米材輸出価格が7月積みにつき8月積みも値上り。9月積みも値上げを提示しており、カナダ材と合わせ産地の先高観は強まっている。(東京:問屋)	産地国の生産は順調だが日本向けは殆んど見られない。産地国のコスト高は変わっておらず価格の伸びない日本向けからの撤退が増えている。(東京:問屋)
	カナダ材役物は年末近くまでまとまった入荷が無いという事で、この先数ヶ月は仕入れ予定無し。(東京:問屋)	伐採時期が良くなるので、仕入れは増すが、売りはあまり期待出来ない。(東京:問屋)
	米・カナダ、ツガ・マツともにKD材の仕入れは高くなっている。(東京:問屋)	天竜ヒノキ中目上の丸太少なく、幅広材入手難。アカマツタルキ・イギルマ製品が手当てできないので中国・満州里製品を入れてみた。割と良さそうである。(東京:問屋)
	丸太高、引き合い増、コスト高。(東京:問屋)	仕入価格は上昇気味。(東京:問屋)
	盆明け以降仕事は徐々に始めている。(東京:問屋)	今月末からかなり入荷しそう。(東京:問屋)
	良材製品が少なく仕入れが減っている。(東京:問屋)	
	国産材使用物件は現状維持状態。ただ羽柄材は微増か？秋需期待(9・10月はそこそこ仕事がありそう)。(東海:問屋)	
	お盆前、スギ・ヒノキ原木の値上がりがあったが、内地材の値上がり無く、落ち着いた感じ。(東海:問屋)	
	京浜マーケットでは6月の米マツ丸太大量入荷分が捌けておらず、大手港湾製材KD製品値上げにもメーカーは反応出来ず、厳しい状況が続いている。(東京:問屋)	
	受注件数は増えているが、上昇し続けている仕入れコストを販売価格に転嫁するのは依然として厳しい。(東京:問屋)	
販 売 動 向	信用不安の発生で商売は完全に萎縮していて打つ手なし。(東京:問屋)	
	9月に入って売れ行きが少々悪化してきた。(東京:問屋)	需要引き合い増。(東京:問屋)
	造作材が動いているが細かい注文が多く、うまみが無い。(東京:問屋)	
	ほぼ仕入れイコール販売。(東海:問屋)	仲間内販売が増加。(東京:問屋)
	9月は仕事が出るべき時期なのに今年もさっぱり。反面建設業界に信用不安が増大している。むしろ売れないでいる事の方が結果として安心かも。(東京:仲買小売)	
	忙しかった夏も終わり暇になった。先の仕事も見えない。価格上昇だが需要は増えない。(東京:仲買小売)	
9月は特に荷動き悪く、荷動きの底支えをしていたリフォーム工事が極端に減少した。(東京:仲買小売)		
在 庫 動 向	米材丸太6月大量入荷分が捌けず、8月予定本船を9月入港に変更し、在庫積み増しを嫌っている。(東京:問屋)	
	産地国の日本離れと仕入れ減少から、欠品する寸法が増えている。(東京:問屋)	
	月を追う毎に減少して、問屋機能を果たせず。(東京:問屋)	良いものは積極的に買う。(東京:問屋)
	現地価格が強く、思った様な仕入れが出来ない。(東京:問屋)	
大幅な値上げがない限り現状通り。(東海:問屋)		
8月の売上げが予想より悪かったので9月に期待。(東京:仲買小売)		
2. 価格動向		
スギ正角	アカマツ、米マツは上がったとしてもスギは変化なし。(東京:問屋)	
ヒノキ正角	柱材にスギより安い物もある。(東京:問屋)	
ヒノキ土台角	産地により価格差があるため見積りの価格にあった産地選択が出来る。(東海:問屋)	
米ツガ	再割り原板・輸送コストの値上がりのため8月下旬より若干の値上げ。後、年内横ばいに転じるか？(東京:問屋)	
米マツ平角	中国木材(株)の動向次第。(東京:問屋)	
	KD平角は中国木材の2度目の値上げで他社も追随上昇。輸入コスト高でグリーン平角も値上げか？(東海:問屋)	
	輸入材全般に上昇かと思う。(東京:仲買小売)	
北洋アカマツタルキ	「必要な時に必要な物が」希望通りにいかないのが現実の事態となってしまった。(東京:仲買小売)	
	アカマツ材が品薄で価格高騰、売りにくくなっている。(東京:仲買小売)	
	伐採効率の低下(山火事・降雨)の丸太不足によると、来1月からの関税を見越してか価格上昇。(東海:問屋)	
WW・RW集成材	北欧材、ロシア材は値上げムード一色ながらも、売れ行きはそれ程でもない。(東京:問屋)	
	RW集成材はメーカー在庫も、ラミナ入荷も少なく高くなりそう。(東京:問屋)	
	輸入材は第3四半期は横ばいだが、国内は減産しており受注残を結構抱えている。(東海:問屋)	
合板	針葉樹合板はメーカーの在庫調整が進んだのと原木不足により価格上昇。(東海:問屋)	
	国産型枠合板製造の大手が生産を中止。在庫量の減少に伴い売れないながらも価格は強くなるのでは？必然的に輸入品や針葉樹合板も価格面で強くなる。(東京:仲買小売)	